First Hit

Previous Doc

Next Doc

Go to Doc#

End of Result Set

Generate Collection

Print

L3: Entry 1 of 1

File: JPAB

Jan 26, 2001

PUB-NO: JP02001022255A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2001022255 A

TITLE: HOLOGRAM DISPLAY BODY AND METHOD FOR PREPARATION THEREOF

PUBN-DATE: January 26, 2001

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

KODAMA, DAIJIRO WATABE, TAKECHIKA

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

DAINIPPON PRINTING CO LTD

APPL-NO: JP11195310 APPL-DATE: July 9, 1999

INT-CL (IPC): $G03 \text{ H} \frac{1}{26}$

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent the color of a foreground pattern from being changed and contrast from being deteriorated at a superimposed part by recording by excluding a part corresponding to a shadow at which the foreground pattern of a background pattern is superimposed.

SOLUTION: The background pattern obtained by excluding the part superimposed with the foreground pattern is prepared from the background pattern to be displayed. The respective recording intermediate holograms of the foreground pattern and the background pattern are superimposed, and illuminating light from a direction reverse to the incident direction of the illuminating light at a recording time is made incident, and also a separate and similar volume hologram photosensitive material is arranged, so that a reflection type hologram 31' is recorded by making diffracted light beams and the illuminating light interfere in a photosensitive material. When white illuminating light 35 is made incident on the hologram display body 31' recorded from the direction reverse to the incident direction of the illuminating light at the recording time, the image 2I of the foreground pattern 2 is reproduced of the diffracted light beams 36 in the vicinity of the surface of the hologram display body 31' and the image 4I of the background pattern 4 from which the superimposed part with the image 2I of the foreground pattern 2 is excluded is reproduced of the diffracted light beams 36 on the surface on a back side and separated by distances L2-L1.

COPYRIGHT: (C) 2001, JPO

Previous Doc

Next Doc

Go to Doc#

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号 特開2001-22255

(P2001-22255A)

(43)公開日 平成13年1月26日(2001.1.26)

(51) Int.Cl.7

G03H 1/26

識別記号

FΙ

テーマコード(参考)

G 0 3 H 1/26

2K008

審査請求 未請求 請求項の数2 OL (全 5 頁)

(21)出願番号

特願平11-195310

(22)出願日

平成11年7月9日(1999.7.9)

(71)出願人 000002897

大日本印刷株式会社

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

(72)発明者 児玉大二郎

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

大日本印刷株式会社内

(72)発明者 渡部壮周

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

大日本印刷株式会社内

(74)代理人 100097777

弁理士 韮澤 弘 (外7名)

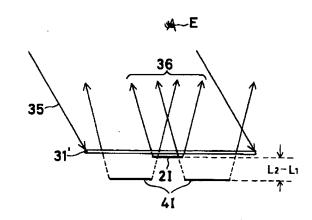
Fターム(参考) 2K008 AA00 BB06 EE04 FF17

(54) 【発明の名称】 ホログラム表示体及びその作成方法

(57)【要約】

【課題】 立体模型や平面像を重ね合わせて立体的に表示するホログラム表示体において、前景パターンと背景パターンの重畳部分において前景パターンの色が変わったりコントラストが低下することを防止したホログラム表示体。

【解決手段】 反射型であって体積型の単層からなるホログラム表示体31'であって、前景パターン2Iと背景パターン4Iとが空間的に離れて再生可能に記録されており、かつ、背景パターン4Iの前景パターン2Iが重畳する影に当たる部分が除かれて記録されてなるホログラム表示体31'。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 反射型であって体積型の単層からなるホ ログラム表示体であって、前景パターンと背景パターン とが空間的に離れて再生可能に記録されており、かつ、 背景パターンの前景パターンが重畳する影に当たる部分 が除かれて記録されてなることを特徴とするホログラム 表示体。

【請求項2】 前景パターン像を結像する前景パターン 記録中間ホログラムと背景パターン像を結像する背景パ ターン記録中間ホログラムとを別々に作成し、前記前景 10 パターン記録中間ホログラムと前記背景パターン記録中 間ホログラムとを重畳配置し、前記前景パターン記録中 間ホログラム及び前記背景パターン記録中間ホログラム からの回折光を同時に同一の感光材料中に入射させてホ ログラム像として記録するホログラム表示体の作成方法 において、

前記背景パターン記録中間ホログラムを作成する工程に おいて、背景パターンの前景パターンが重畳する影に当 たる部分が除かれて構成された背景パターンを用いて前 記背景パターン記録中間ホログラムを作成することを特 20 徴とするホログラム表示体の作成方法。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、ホログラム表示体 及びその作成方法に関し、特に、立体模型や平面像を重 ね合わせて立体的に表示するホログラム表示体及びその 作成方法に関するものである。

[0002]

【従来の技術】従来、立体模型や平面像を別々のホログ ラムとして撮影し、両者の再生像を空間的に重ね合わせ 30 て再度別の単一のホログラムに重畳した像として記録し てなる、立体模型や平面像を重ね合わせて立体的に表示 するグラフィックアート用ホログラム等のホログラム表 示体は公知である。

[0003]

【発明が解決しようとする課題】その場合、前景となる パターンと背景となるパターンの重畳部分で背景パター ンからの再生光が前景パターンの再生光と加法混色を起 こして前景パターンの色が変わったりコントラストが低 下する等の問題がある。

【0004】本発明は従来技術のこのような問題点に鑑 みてなされたものであり、その目的は、立体模型や平面 像を重ね合わせて立体的に表示するホログラム表示体に おいて、前景パターンと背景パターンの重畳部分におい て前景パターンの色が変わったりコントラストが低下す ることを防止したホログラム表示体とその作成方法を提 供することである。

[0005]

【課題を解決するための手段】上記目的を達成する本発

からなるホログラム表示体であって、前景パターンと背 景パターンとが空間的に離れて再生可能に記録されてお り、かつ、背景パターンの前景パターンが重畳する影に 当たる部分が除かれて記録されてなることを特徴とする ものである。

【0006】また、本発明のホログラム表示体の作成方 法は、前景パターン像を結像する前景パターン記録中間 ホログラムと背景パターン像を結像する背景パターン記 録中間ホログラムとを別々に作成し、前記前景パターン 記録中間ホログラムと前記背景パターン記録中間ホログ ラムとを重畳配置し、前記前景パターン記録中間ホログ ラム及び前記背景パターン記録中間ホログラムからの回 折光を同時に同一の感光材料中に入射させてホログラム 像として記録するホログラム表示体の作成方法におい て、前記背景パターン記録中間ホログラムを作成する工 程において、背景パターンの前景パターンが重畳する影 に当たる部分が除かれて構成された背景パターンを用い て前記背景パターン記録中間ホログラムを作成すること を特徴とする方法である。

【0007】本発明においては、背景パターンの前景パ ターンが重畳する影に当たる部分が除かれて記録されて なるので、前景パターン像と背景パターン像の重畳部分 において前景パターン像の色が変わったりコントラスト が低下することがなく、立体感が強調されて前景パター ン像と背景パターン像が立体的に観察でき、意匠性に富 んだホログラム表示体が得られる。

[0008]

【発明の実施の形態】以下、本発明によるホログラム表 示体をその作成方法に従って説明する。

【0009】本発明は、例えば、図1に示したような前 景パターン板1に描かれた前景パターン (三角形パター ン) 2を図2に示したような背景パターン (円形と長方 形の組み合わせパターン) 4'の前あるいは上に重畳し て表示するように体積ホログラムとして記録するもので ある。

【0010】その場合に、図2に破線2'で示した前景 パターンが背景パターン4'上に重畳し、背景パターン 4 から再生した光と前景パターン2 から再生した光 とが加法混色を起こして前景パターン2'の色が変わっ 40 たりコントラストが低下することになる。そこで、図3 に示すように、表示しようとする背景パターン4'から この重畳部分を除いてなる背景パターン4が描かれた背 景パターン板3を用意する。なお、表示しようとする背 景パターン4'から除く部分の大きさは、前景パターン 2との重畳部分と同じ大きさでもよいが、それより若干 大きくして、最終的に作成されるホログラム31'(図 7)を観察したときに視点Eを移動しても、前景パター ン2の像2 I と背景パターン4の像4 I が重なって見え ることがないようにするのが望ましい。

明のホログラム表示体は、反射型であって体積型の単層 50 【0011】このような前景パターン2が描かれた前景

20

パターン板1と背景パターン4が描かれた背景パターン板3を用いて中間ホログラムを撮影する。

【0012】図4は前景パターン板1を用いて前景パターン記録中間ホログラム11、を撮影するための配置を示す図であり、ホログラム感光材料としてフォトポリマー等の体積ホログラム感光材料11を用意し、その感光材料11から距離し、離間させて図1の前景パターン板1を配置し、感光材料11側から所定の入射角ので同時にあるいは順次R、G、B3色の照明光12を入射させると、照明光12は感光材料11を透過して前景パター 10ン板1に入射し、その上に描かれた前景パターン2から反射方向に散乱光13が生じる。この散乱光13と照明光12が体積ホログラム感光材料11中で干渉して、反射型の前景パターン記録中間ホログラム11(図6)が記録される。

【0013】図5は背景パターン板3を用いて背景パターン記録中間ホログラム21、を撮影するための配置を示す図であり、別の同様の体積ホログラム感光材料21を用意し、その感光材料21から距離し2($L_2 > L_1$) 離間させて図3の背景パターン板3を配置し、感光材料21側から図4の場合と同じ入射角 θ で同時にあるいは順次R、G、B3色の照明光22を入射させると、照明光22は感光材料21を透過して背景パターン板3に入射し、その上に描かれた背景パターン4から反射方向に散乱光23が生じる。この散乱光23と照明光22が体積ホログラム感光材料21中で干渉して、反射型の背景パターン記録中間ホログラム21、(図6)が記録される。

【0014】このようにして記録された前景パターン記 録中間ホログラム11'及び背景パターン記録中間ホロ 30 グラム21'は何れも、その記録時の照明光12、22 の入射方向と反対方向からR,G、B3色の照明光32 を入射させると、図6に示すように、それぞれ回折光3 3、34を発生させ、前景パターン記録中間ホログラム 11'からは距離し」の位置に前景パターン2の像2i を、背景パターン記録中間ホログラム21'からは距離 L2 の位置に背景パターン4の像4iを結像する。した がって、前景パターン記録中間ホログラム11'と背景 パターン記録中間ホログラム21'を重ね合わせて、そ の記録時の照明光12、22の入射方向と反対方向から R. G、B3色の照明光32を入射させると、図6に示 すように、前景パターン2の像2iと背景パターン4の 像4 i とが空間的に距離L2 -L1 離れて結像する。こ の結像光路中の像2 i と像4 i に近い位置 (図の場合 は、像2iに近接した位置を選んでいる。) にさらに別 の同様の体積ホログラム感光材料31を配置し、回折光 33、34と照明光32をその感光材料31中で干渉さ せて、本発明の反射型のホログラム(ホログラム表示 体) 31'(図7)を記録する。

【0015】以上のようにして記録されたホログラム表 50 パターン板の例を示す図である。

4

示体31'に、図7に示すように、その記録時の照明光 32の入射方向と反対方向から白色照明光35を入射さ せると、回折光36はホログラム表示体31'の面近傍 に前景パターン2の像2 I を再生すると共に、その背後 であって距離L2 - L1 だけ離れた面に背景パターン4 の像4 I を再生する。そして、背景パターン4の像4 I は、前景パターン2の像2 I との重畳部分が除かれてい るため、ホログラム表示体31)の前方から観察者の眼 Eで観察すると、眼Eに近い側に前景パターン2の像2 Iが見え、その背後に距離L₂ - L₁ だけ離れて背景パ ターン4の像4Ⅰが見え、かつ、背景パターン像4Ⅰの 前景パターン像2Ⅰに対応する部分からは何ら表示光が 来ないので、前景パターン像2 I と背景パターン像4 I の重畳部分において前景パターン像2Iの色が変わった りコントラストが低下することがなく、立体感が強調さ れて前景パターン像2 [と背景パターン像4 [が立体的 に観察できる。

【0016】以上、本発明のホログラム表示体を作成方 法に基づいて説明してきたが、本発明は上記の実施例に 限定されず種々の変形が可能である。なお、図7の配置 において、前景パターン像2Iあるいは前景パターン像 2 [と背景パターン像4] の両方が実像として結像する ように構成することができる。そのためには、図6の配 置において、体積ホログラム感光材料31に配置位置 を、前景パターン2の像2iと背景パターン4の像4i との間、あるいは、背景パターン4の像4iよりさらに 離れた位置に選べばよい。また、ホログラム表示体3 1'の観察側とは反対側に黒色等の光吸収性の層を積層 することにより、前景パターン像2Iと背景パターン像 4 I をより明瞭に表示することができる。なお、以上の ようにして作成された体積型ホログラム31'を原版と し、別の体積ホログラム感光材料をその上に重ね合わせ てホログラフィックに複製することにより本発明のホロ グラム表示体を得るようにしてもよい。

[0017]

【発明の効果】以上の説明から明らかなように、本発明のホログラム表示体とその作成方法によると、背景パターンの前景パターンが重畳する影に当たる部分が除かれて記録されてなるので、前景パターン像と背景パターン像の重畳部分において前景パターン像の色が変わったりコントラストが低下することがなく、立体感が強調されて前景パターン像と背景パターン像が立体的に観察でき、意匠性に富んだホログラム表示体が得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のホログラム表示体の作成に用いる前景 パターン板の例を示す図である。

【図2】前景パターンと背景パターンが重畳する様子を 示す図である。

【図3】本発明のホログラム表示体の作成に用いる背景 パターン板の例を示す図である

【図4】図1の前景パターン板を用いて前景パターン記 録中間ホログラムを撮影するための配置を示す図であ る。

【図5】図3の背景パターン板を用いて背景パターン記 録中間ホログラムを撮影するための配置を示す図であ

【図6】前景パターン記録中間ホログラムと背景パター ン記録中間ホログラムを用いて本発明のホログラム表示 体を撮影するための配置を示す図である。

【図7】本発明のホログラム表示体から前景パターンと 10 21、…背景パターン記録中間ホログラム 背景パターンからなる表示像を再生する様子を説明する ための図である。

【符号の説明】

- 1…前景パターン板
- 2…前景パターン
- 21…表示すべき前景パターン
- 2 i …前景パターン像
- 2 I…前景パターン像
- 3…背景パターン板

4…背景パターン

4'…表示すべき背景パターン

4 i…背景パターン像

4 I…背景パターン像

11…体積ホログラム感光材料

11'…前景パターン記録中間ホログラム

6

12…照明光

13…散乱光

21…体積ホログラム感光材料

22…照明光

23…散乱光

31…体積ホログラム感光材料

31'…ホログラム(ホログラム表示体)

3 2 … 照明光

33、34…回折光

35…白色照明光

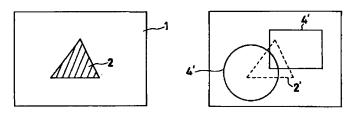
36…回折光

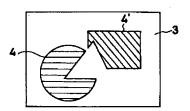
E…観察者の眼(視点)

【図1】

【図2】

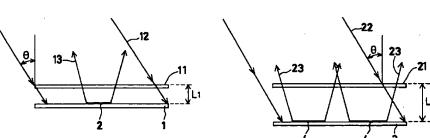
【図3】



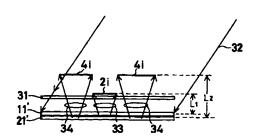


【図4】

【図5】



【図6】



【図7】

